

# 調査レポート Part.2

## Report

### 事業承継に関するアンケート調査

【調査目的】  
後継者の有無や事業継続の意向など県内中小企業の事業承継に関する実態・動向を把握するとともに、支援機関が企業向けに今後より効果的なサポートを実施可能とする。

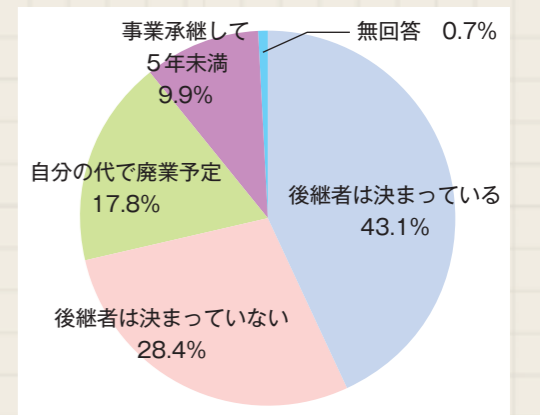
#### 【調査概要】

- 期間 平成29年11月13日(月)～12月7日(木)
- 対象 福井県内7商工会議所に所属する会員事業所 2,790社
- 方法 郵送による配布、FAXによる回収
- 回収数 1,006社(回収率 36.1%)

#### 県内企業の半数近くが 廃業の可能性あり

事業の後継者が決まっているかについて尋ねたところ、「決まっている」と回答した企業は全体の約4割、「決まっていない」と回答した企業が3割弱、「自分の代で廃業予定」と回答した企業が2割強を占めた。

【グラフ1】後継者は決まっているか

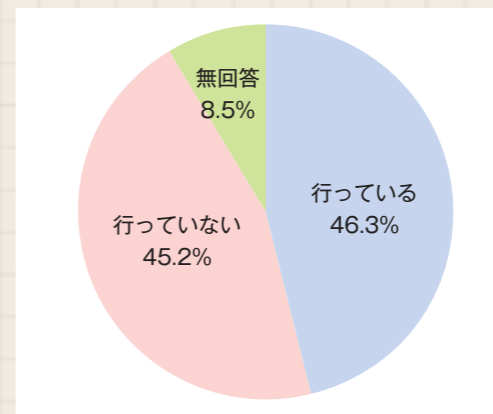


割弱、「承継して5年未満」と回答した企業が約1割となり、全体の半数近くは廃業の可能性がわかる。また、業歴の長い企業ほど「決まっている」と回答する企業の割合が高くなるが、50年以上の業歴を持つ企業においても約3割が「決まっていない」と回答しており、事業を引き継ぐことの難しさが現れている。

#### 後継者は決まっても 半数以上は教育が不十分

後継者が決まっている企業に対し、事業承継に向けた後継者教育を行っているか尋ねたところ、後継者が決まっても半数以上は教育が不十分であった。

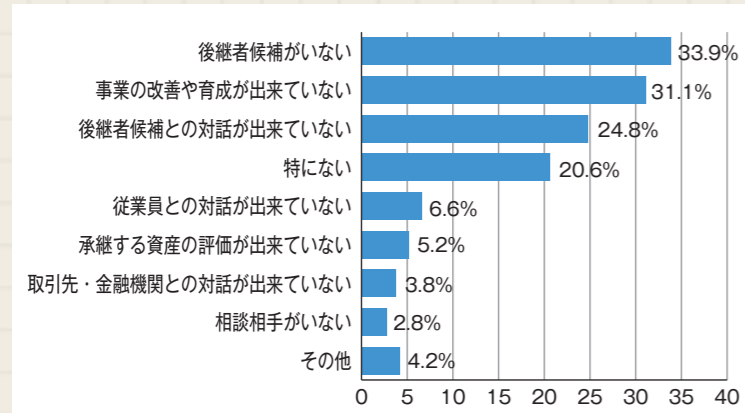
【グラフ2】後継者教育を行っているか(後継者が決まっている企業)



#### 事業の将来性に対する不安が 対話を躊躇させる要因に

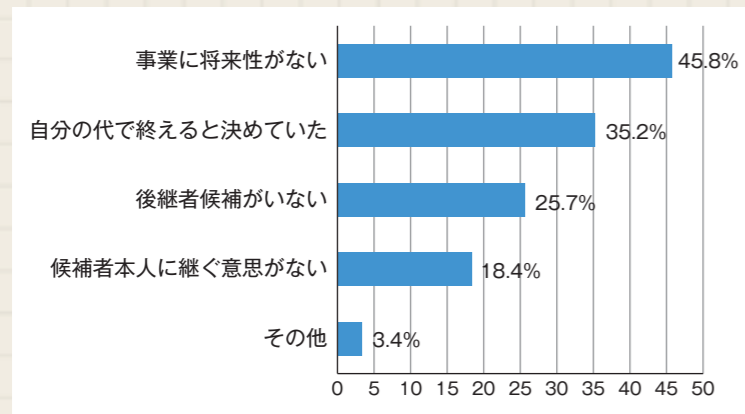
後継者が決まっていない企業に対し、今後の事業承継に向けた課題を尋ねたところ、「後継者候補がない」が33.9%、「事業の改善や育成が出来ていない」が31.1%、「後継者候補との対話が出来ていない」が24.8%となつた。

【グラフ3】事業承継に向けた課題(後継者が決まっていない企業)



また、「後継者候補との対話が出来ていない」と回答した企業の4割弱は「事業の改善や育成が出来ていない」とあわせて回答しており、事業の将来性に対する不安から後継者候補に「事業を継いでほしい」と伝えることができていない企業も相当数存在することがわかった。

【グラフ4】廃業を検討している理由(廃業を検討している企業)

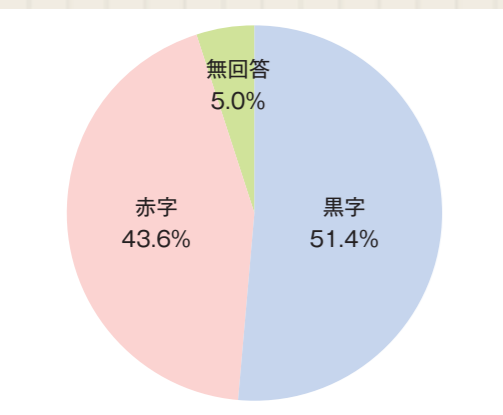


廃業を検討している企業にその理由を尋ねたところ、「事業に将来性がない」が45.8%、「自分の代で終わると決めていた」が35.2%となり、後継者不在が直接的理由で廃業を検討している企業は約3割にとどまっていることがわかった。

#### 後継者不在が直接的理由で 廃業検討する企業は約3割

#### 現在は黒字でも将来に対する 不安から廃業を選択

【グラフ5】現在の会社の経営状況(廃業を検討している企業)

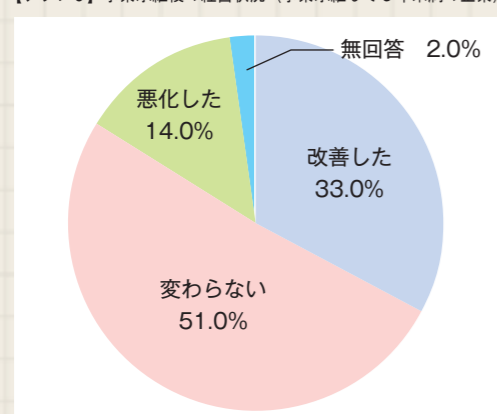


廃業を検討している企業に対し、現在の企業の経営状況を探ねたところ、「黒字」が51.4%、「赤字」が43.6%で、半数以上は黒字だと分かった。前問との関連を見ると、「赤字」と回答した企業においては5割強が前問で「事業に将来性がない」と回答しており、「黒字」と回答した企業においても4割強が前の質問で「事業に将来性がない」と回答している。つまり、現時点では黒字でも将来的に黒字が維持できるか不安なことが廃業を検討する理由となっている。

#### 事業承継は企業の経営改善を 実現する一つの契機

事業を承継して5年未満の企業に、事業承継後の経営状況を尋ねたところ、過半数は「(以前と)変わらない」と回答したが、「改善した」と回答した企業も3割超存在した。後継者へのバトンタッチを早めに準備することは企業にとってもプラスに働くとと言える。

【グラフ6】事業承継後の経営状況(事業承継して5年未満の企業)



お問い合わせ先  
福井県商工会議所連合会  
TEL 0776(33)8283